

教科名	理科	科目	生物選択(特進)	単位	4単位
-----	----	----	----------	----	-----

1. 教科書および副教材

- (1) 教科書 「生物(数研出版)」
- (2) 副教材 「リードα生物(数研出版)」「生物図録(数研出版)」

2. 授業の目標および内容

- (1) さまざまな事例を通して、自然界と生物、人間に対して関心を持ち、生命を探求しそれに対する理解を深めるとともに、生命の本質を理解するようにしたい。
- (2) 基本的内容を理解し、現学年から大学入試へ対応できる基礎学力の養成を目指す。
- (3) 授業の進め方としては、教科書の進度に合わせて進めていく。

3. 試験

	1学期		2学期		3学期
(1)定期試験	5月	7月	10月	12月	3月
(2)学力試験	なし		なし		2月

- (1) 定期試験：履修した内容の理解度を確認することが目的で、範囲を指定して出題する。教科書のほか、リードα生物、配布プリントなどをよく勉強しておくこと。
- (2) 学力試験：履修したすべての範囲から出題される。発展問題の割合が増える。

4. 課題、補習

必要に応じて実施する。

5. 評価の基準

定期試験の点数を基本とし、平常点も加味して算出する。

6. 授業計画

学期	単元	内容	備考	
1	第4章 生殖と発生	4 動物の配偶子形成と受精		
		5 初期発生の過程		
		6 細胞の分化と形態形成		
	第5章 動物の反応と行動	7 植物の配偶子形成と発生		
		1 ニューロンとその興奮		
		2 刺激の受容		
		3 情報の統合		
		4 刺激への反応		
	第6章 植物の環境応答	5 動物の行動		
		1 植物の生活と環境応答		
		2 発芽の調節		
			3 成長の調節	

		<ul style="list-style-type: none"> 4 環境の変化に対する応答 5 花芽形成・結実の調節 	
2	<p>第7章 生物群集と生態系</p> <p>第8章 生命の起源と進化</p> <p>第9章 生物の系統</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1 個体数 2 個体群内の個体間の関係 3 異種個体群間の関係 4 生物群集 5 生態系における物質生産 6 生態系と生物多様性 1 生命の起源と初期の生物の変遷 2 多細胞生物の変遷 3 進化のしくみ 1 生物の系統 2 生物の多様性 	